

「させる」から「支える」

R4. 12. 2

第645話

生徒指導のバイブルともされる、生徒指導提要の見直しが進んでいます。

教職研修12月号では、特集1「誰もが安心していられる学校を『生徒指導提要』でつくる」と題し、生徒指導の理念等について様々な考えが掲載されています。

「させる」から「支える」へ。

「子ども支援の視点」に立った生徒指導の推進が求められます。中でも、新井肇氏（関西外国語大学教授）は、この基盤となる「発達支持的生徒指導」について、

「日々の教職員の児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、授業、行事等を通じた個と集団への働きかけ」などにより、児童生徒が

「例えば、自己理解力や自己効力感、コミュニケーション力、他者理解力、思いやり、共感性、人間関係形成力、協働性、目標達成力、課題解決力」などを身につけることを支える働きかけであることが強調されているとしています。

「本校では、何を生徒指導の重点とするか」

生徒の実態に正対・直視し、適切に定めたいです。